

第39回全日本実業柔道個人選手権大会・報告書

第39回全日本実業柔道個人選手権大会は8月29日、30日の両日、兵庫県尼崎市記念公園総合体育館で開催された。男子8種目（7体重制と22歳未満の部）、604人、女子7種目（7体重制）、132人の計736人、過去最多エントリーの昨年を僅かに14人下回る過去2番目の規模の大会となった。選手諸君は所属チームの応援団や地元尼崎の柔道ファンの声援を背に受け、6試合場で熱い戦いを繰り広げた。



開会式であいさつする森 大会副会長

初日の開会式は9時30分開始。米田圭佑大会副委員長の開会宣言、国歌斉唱の後、森 詳介大会副会長の開会挨拶、来賓紹介、村山保夫尼崎市教育長の来賓挨拶、白井 文尼崎市長からの祝電披露、渡辺軍三審判長の試合上の注意、前年度男子90kg級優勝旭化成増淵 樹選手の選手宣誓と続き、10時から試合を開始した。

初日の結果。男子は81kg級で谷口 徹3段（旭化成）が2年連続優勝、自身3度目の優勝を遂げ、73kg級は昨年まで66kg級3連覇中の鳥居智男5段（了徳寺学園）が階級を上げて出場、準決勝戦、決勝戦を連続して鮮やかな一本勝で制して、前人未到、大会通算7度目となる優勝を果たした。66kg級は快進撃で勝ち上がった望月健次3段（セコム）が決勝戦でも快勝して念願の初優勝。60kg級は小川武志5段（了徳寺学園）が実に5年連続、6度目の優勝を果たした。22歳未満は一昨年第3位、昨年準優勝の吉崎 晃2段（新日本製鐵・広畑）が悲願の優勝を遂げた。女子では、57kg級で昨年準優勝の宇高菜絵2段（コマツ）が決勝戦一本勝で初優勝を飾り、52kg級では近藤優子3段（S・T・O）が決勝戦で2年連続の同顔対戦を延長戦で制して2連覇を果たす。48kg級は宝 真由美2段（コマツ）が決勝戦で鮮やかな体落一本勝を収め、男子60kg級小川と並ぶ5連覇を達成した。

最終日。男子では、100kg超級で新人須藤紘司4段（京葉ガス）が豪快な柔道で初優勝。100kg級で本郷光道3段（フオーリーフジャパン）が足技に冴えを見せ2年ぶり2度目の優勝を果たした。90kg級は矢野雄大5段（了徳寺学園）がベテランらしく多彩な技を駆使して、2年ぶり3度目の優勝。女子は、78kg超級で注目の新人立山真衣3段（フオーリーフジャパン）がオール一本勝で初優勝を飾り、78kg級では平岡麻美4段（平成国際大学柔道クラブ）が2年ぶり4度目の優勝を、70kg級は今井優子3段（了徳寺学園）が2年連続優勝を果たした。63kg級は谷本育実2段（コマツ）がオール一本勝で初制覇した。



全国各地から出場した選手が集う開会式



選手宣誓する増淵選手（旭化成）

男子100kg超級

“多彩な技で勝ち進んだ新人須藤が決勝戦を一本勝で制す”

京葉ガスの新人須藤は尻上りに調子を上げて勝ち進み、準決勝戦では、今大会絶好調、得意の右大外刈を炸裂させて勝ち上がったダイコク合田と対戦。ここでも須藤は開始10秒、右に組むと見せて、左から高い姿勢の一本背負投で豪快に合田を宙に回して一本勝。決勝戦で片測に挑む。

一方、3年ぶりの優勝を目指す日本中央競馬会の片測は、巨体に似ず俊敏な動きをみせて勝利を重ねる。準決勝戦では、立花学園柔道クラブの新人桶谷と対戦し、左で組み合う中、1分40秒、左一本背負投と見せて左小内刈（小内巻込）で有効を先取。続く2分18秒には、今度は長身の桶谷の奥襟をしっかりと握り、右足を一步踏み込み、左に支釣込足に振って桶谷を裏返して技ありを奪うと、そのまま横四方固で抑え込む。合せ技一本で片測が3年ぶりに決勝戦進出を果たす。

新人須藤対3年ぶりの優勝を目指す片測との決勝戦。開始早々、須藤が右一本背負投で片測を大きく泳がせるが、その後は攻防乏しく、1分17秒に互いに指導1。以降も両者の引き手争いが続くが、2分7秒に須藤が右組みから低い姿勢の左一本背負投で有効を奪う。リードされた片測は懸命に左内股で反撃するも決まらず。こうして迎えた4分25秒、はやる片測が左腕を須藤の脇に差し入れて押し込むところを、須藤が片測を充分に引き付けて内股で跳ね上げると、片測の巨体は背中から落ちて一本。新人須藤、嬉しい初優勝。



優勝した須藤選手
(京葉ガス)

須藤の話

社会人になり、まだ一勝もしていなかったことから今大会の目標は初戦突破でした。目標である初戦突破をしたことで一試合一試合を大事に戦い、自分の柔道ができた。学生時代とは違い、仕事と柔道の両立をしながら自分で考えた練習ができ、精神的にも強くなったことが今大会の勝因の一つだと思っています。

私自身、この優勝はとても嬉しく感じています。普段より柔道ができる環境を作っている。頂いている戦場の皆さまに感謝しております。

今後はより一層努力し、今回以上の結果を残していきたいと思っています。

【成績】

優勝 須藤紘司 (京葉ガス)

準優勝 片測慎弥 (日本中央競馬会)

第3位 合田良太 (ダイコク)

第3位 桶谷知生 (立花学園柔道クラブ)

▽準々決勝

●合田 優勢勝 木村 (旭化成)

○須藤 優勢勝 里山 (さふ柔道くらぶ24)

○桶谷 内股透 大鋸 (旭化成)

○片測 小外刈 森田 (新日鐵・広畑)

▽準決勝

○須藤 左一本背負 合田

○片測 横四方固 桶谷

▽決勝

○須藤 内股 片測

男子100kg級

“足技の冴えを見せた本郷が、他を寄せ付けず2年ぶり2度目のV”

今年から所属を替えたフォーリーフジャパンの本郷は、得意の足技で相手を翻弄し、順当に準決勝戦に勝ち進む。準決勝戦は、気鋭の新日本製鐵西山と対戦。試合は両者相譲らず延長戦に突入。1分23秒に一瞬の本郷の隅落が有効となり勝負が決す。2年ぶり本大会登場の本郷、決勝戦に臨む。

片や、総合警備保障の今井は4試合中3試合で一本勝し、今大会絶好調。旭化成出口との準決勝戦でも、1分51秒に出口を大外刈一本に仕留め、堂々決勝戦に進軍。

決勝戦は、左右のケンカ組み手の両者が、互いに極端な左右の変形姿勢から組み際に技を繰り出す。激しい攻防の中で迎えた1分37秒、本郷が左大腰に入ると、今井はこれに抱き着き小外掛で返そうとするが、本郷は逆に左大内刈で切り返して技ありを奪う。そして、この直後の1分59秒には、本郷は今井を押し込み、場外際で今井の足が揃ったところを斜めから左大外刈で鋭く刈込むと、今井は後ろさりしながら倒れ、再び技ありの宣告。本郷2年ぶり2度目の優勝を果たす。



優勝した本郷選手
(フォーリーフジャパン)

本郷の話

全日本選手権以来4ヶ月ぶりの試合という事もあり、少し試合間が空いた中で、自分なりに課題を持つて取り組んできた練習がいい形で結果に繋がってくれています。

日頃、自分を支えてくださっている方々、家族、会社の皆さん、友達、そして自分の目標の達成のため、まずは講道館杯で優勝出来るよう、この2ヶ月間を大事に過ごしたいと思います。

【成績】

優勝 本郷光道 (フォーリーフジャパン)

準優勝 今井敏博 (総合警備保障)

第3位 西山将士 (新日鐵・広畑)

第3位 出口雄樹 (旭化成)

▽準々決勝

○西山 大内刈 長谷川 (日本通運)

○本郷 小外刈 野田 (旭化成)

○出口 優勢勝 千葉 (まるや接骨院)

○今井 肩車 柴田 (セコム)

▽準決勝

○本郷 優勢勝 西山

○今井 大外刈 出口

▽決勝

○本郷 合せ技 今井

男子90kg級

矢寄、巧みな試合運びで強敵を退け、2年ぶり3度目の優勝

過去2度の優勝を誇る矢寄は、強敵の旭化成田中、日本中央競馬会山本を次々退け、準決勝戦に勝ち上がる。得意の内股で次々一本勝を取って勝ち進んだ昨年の覇者、旭化成増測との準決勝戦は、両雄、一進一退の攻防を続ける中、残り20秒に矢寄が得意の朽木倒で増測から一本を奪い、2年ぶりに決勝戦に名乗りを上げる。

対する旭化成齋藤は、安定した試合運びで勝利を重ね、今年も準決勝戦に勝ち進む。準決勝戦はOJC菊川と争い、得意の寝技で攻め切れぬ中、2分31秒、菊川が押し込む瞬間、齋藤が低く体を沈めて肩車で担ぎ、斜め前方へ投げ捨てると、菊川はもんどりうって背中から落ちて一本。齋藤、昨年に続き決勝戦進出。

決勝戦は、嘗てのチャンピオン同士の対戦。矢寄左組み、齋藤右組みのケンカ組み手。互いに引き手を争い、技の出ない両者に1分3秒、指導1。その後は、齋藤が釣り手で矢寄の背を掴みながら内股、肩車で攻める。ところが、4分3秒に齋藤が左から肩車に入ろうとした瞬間、矢寄が素早く反応、齋藤を押し潰して技ありを奪う。終了間近には、後が無い齋藤が遮二無二前に出るところを、矢寄は仰向けの姿勢から隅返で頭上越しに裏返せば、プザーと同時に主審の右手が水平に上がって技あり。続いて右手が高く掲げられ、合せ技一本の宣告。矢寄2年ぶり3度目の優勝達成。



優勝した矢寄選手
(了徳寺学園)

矢寄の話

去年は3位で悔しい思いをしたぶん優勝できたことをとても嬉しく思います。

強豪選手との対戦が続く、本心に厳しい試合の連続でした。来年の大会にも万全の状態出場し連覇できるように頑張っていきたいと思っています。

【成績】

優勝 矢寄雄大 (了徳寺学園)

準優勝 齋藤制剛 (旭化成)

第3位 増測 樹 (旭化成)

第3位 菊川 頭 (OJC)

▽準々決勝

○増測 内股 橋本 (東京消防庁)

○矢寄 すくい投 山本 (日本中央競馬会)

○齋藤 優勢勝 竹森 (富山県警)

○菊川 優勢勝 角地 (旭化成)

▽準決勝

○矢寄 朽木倒 増測

○齋藤 肩車 菊川

▽決勝

○矢寄 合せ技 齋藤

男子81kg級

谷口が積極的に攻めて接戦をものにし、2年連続3度目の優勝

旭化成谷口は、緒戦の第2回戦で一本勝を取るも、以降は試合時間をフルに使う消耗の激しい試合を余儀なくされた。しかし、持ち前の積極的な柔道で接戦をものにしながら準決勝戦に勝ち進む。自衛隊体育学校の渡邊との決勝戦進出を賭けた一戦は、それまでの鬱憤を晴らすかのような開始1分6秒の背負投一本で渡邊を畳みに沈め、昨年に続き決勝戦進出。

一方、谷口と同チームの新人河添は、JAKE・JAPAN齋藤、仙台大学柔道クラブ仲田等ベテランを降した後は、同年代の新人を次々倒して準決勝戦へ。総合警備保障の法兼との準決勝戦は抜きつ抜かれつの好勝負を展開。1分14秒、法兼に裏技で技ありを喫した後の横四方固を13秒で逃れて危機を脱す。しかし、敗色濃厚ムードで迎えた2分19秒に、河添が法兼の攻撃を小外掛で切り返して技ありを奪い、そのまま横四方固に抑え込み、逆転の一本勝を取る。

同じチーム同士の戦いとなった決勝戦。左右のケンカ組み手の両者は、引き手争いから一進一退の攻防が続く。こうした流れの中、試合が動いたのは残り50秒を切ってから。場外際で内股を狙う河添に、谷口が後ろからすくい投を狙えば、河添は猶も内股を試みるところ、谷口はこれを潰して、伏せた河添の後ろを抱えながら裏返す。目まぐるしい攻防の末、残り42秒、谷口が技ありを奪う。このまま時間が経過し、谷口が昨年に続き優勝。通算3度目の優勝を飾る。



優勝した谷口選手
(旭化成)

谷口の話

何とか2連覇することが出来ましたが、試合全体の内容としては納得のいく試合ではありませんでした。

試合を通じて見つかった課題を確実に克服していき次の試合で生かせる様にし、この成績に満足することなくこれからも頑張っていきますので応援宜しくお願いいたします。

【成績】

優勝 谷口 徹 (旭化成)

準優勝 河添 佑 (旭化成)

第3位 渡邊 一貴 (自衛隊体育学校)

第3位 法兼 真 (総合警備保障)

▽準々決勝

○谷口 優勢勝 稲葉 (ダイコク)

○渡邊 小外刈 黒澤 (東レ・滋賀)

○河添 小外刈 吳 (早稲田大学)

○法兼 小外掛 山本 (九州電力)

▽準決勝

○谷口 背負投 渡邊

○河添 合せ技 法兼

▽決勝

○谷口 優勢勝 河添

男子73kg級

“ベテラン鳥居、一本勝で本大会通算7度目の優勝に花を添える”

最多10名の選手が出場したこの階級は、階級を上げて出場した昨年まで66kg級3連覇の了徳寺学園鳥居が、緒戦の第1回戦を延長戦判定で辛くも突破して以降は、試合巧者ぶりを遺憾なく発揮し危なげなく準決勝に進む。準決勝戦では、昨年の覇者旭化成の千葉と対戦。両者、息もつかせぬ攻防の中、1分47秒に鳥居が組み際、左引き手に続き右釣り手で千葉の左袖を握るや否や、意表を衝いて右釣り手を畳むようにして袖釣込腰を仕掛けると、千葉の身体は大きく弧を描いて背中から落下。鳥居が驚愕の大技で一本勝を取め、決勝戦進出を決める。

片や、ダイコロ吉園は準々決勝戦となる第5回戦までの4試合全て一本勝を取る快進撃。準決勝戦でも開始45秒、旭化成白井の一本背負投を裏投で返して一本勝。新鋭吉園、最終戦で大ベテラン鳥居に挑む。

右組み同士、組み手争いから始まった決勝戦は、1分5秒、鳥居が組み際に払巻込で技ありを奪う。2分18秒には、吉園の右組みからの左一本背負投を潰した鳥居が、上から吉園を巧みに裏返して上四方固に固め、合せ技一本。階級を上げた鳥居は、この階級の初優勝を飾ると共に、66kg級から数えて4連勝。実に本大会通算7度目の優勝。



優勝した鳥居選手
(了徳寺学園)

鳥居の話

今年からは66kg級から73kg級に階級を変更し、挑戦を続けさせて頂いています。お蔭様で今年もこの大会で優勝させて頂きました。現役柔道界では、かなりの高齢である私ですが、この優勝に至るまでの環境を提供して頂きました了徳寺理事長を始め、諸先生方、コーチ、練習相手になってくれた後輩達、応援してくださった皆様に感謝しています。そしてまた、来年も優勝したいと思っています。

【成績】

優勝 鳥居智男 (了徳寺学園)
準優勝 吉園勇太 (ダイコロ)
第3位 千葉大介 (旭化成)
第3位 白井勇輝 (旭化成)

▽準々決勝

○千葉 内股 西田 (福岡綜合食品店)
○鳥居 判定勝 松田 (OJC)
○吉園 優勢勝 新平 (自衛隊体育学校)
○白井 優勢勝 吉永 (高宮接骨院)

▽準決勝

○鳥居 袖釣込腰 千葉
○吉園 裏投 白井

▽決勝

○鳥居 合せ技 吉園

男子66kg級

“望月が見事な快進撃で、悲願の初優勝を飾る”

セコムの望月は、準決勝戦までの4試合中3試合に一本勝を取め、快調に準決勝戦進出。熊本刑務所の藤山との対戦は、望月が一方的に攻める。1分22秒に指導1を奪った後、2分22秒に小内刈一本で決勝戦に進む。

対する東芝の武末も絶好調。オール一本勝で勝ち進み、昨年準優勝の旭化成寺居との準決勝戦では、開始早々の20秒に後腰で寺居に有効を奪われるも、1分45秒で、この日3度目となる腕挫十字固を極め、逆転で決勝戦初進出。

どちらが勝っても初優勝となる決勝戦。左組み同士の両者は、開始早々から盛んに動き回る。寝技勝負に入ると関節技を執拗に狙う武末に、望月は冷静にさばき容易に隙を与えず。逆に、望月は2分6秒、組み際の攻防で、武末が左に回り込もうとするところ、素早く右小外掛で武末を崩し、技ありを奪う。続く3分17秒にも、同様に回り込もうとする武末を右から支釣込足気味に振って横転させ、有効を奪う。リードを広げた望月が、その後も安定した試合運びを見せて勝利を決定する。望月、嬉しい初優勝。



優勝した望月選手
(セコム)

望月の話

優勝という最高の結果が出せたのは、今まで結果が出せない時期にも思われた環境で柔道をさせて頂いた周りの方々のおかげだと思っています。感謝の気持ちは優勝でしかあらわす事が出来ないと思います。常に最善を尽くし必死で練習をしてきました。この結果に浮かれる事なく、これからも周りの方々へ感謝の気持ちと柔道が出来る喜びを胸に頑張っていきます。

セコム柔道部の部員として優勝出来た事を幸に感じています！

【成績】

優勝 望月健次 (セコム)
準優勝 武末大蔵 (東芝)
第3位 寺居高志 (旭化成)
第3位 藤山順臣 (熊本刑務所)

▽準々決勝

○寺居 判定勝 横口 (釜山柔道クラブ)
○武末 腕挫十字固 梅津 (綜合警備保障)
○望月 一本背負 飯田 (秋大柔道クラブ)
○藤山 優勢勝 莊司 (紀宝柔道会)

▽準決勝

○武末 腕挫十字固 寺居
○望月 足払 藤山

▽決勝

○望月 優勢勝 武末

男子60kg級

“小川が試合の主導権を握って勝利をもぎ取り、5連覇、V6の偉業”

5連覇を目指す了徳寺学園小川は、第4回戦では、ぎふ柔道クラブ24の新人笠井に辛勝するが、それ以外は順当に勝利を重ね準決勝戦に臨む。WINNET TECHNOLOGYの新人朝比奈との準決勝戦は一方的な柔道となり、小川が2分過ぎから矢継ぎ早に有効2本と技ありを奪い、迎えた3分42秒に背負投一本で決勝戦へ進出。

一方、一昨年の第37回大会の準決勝戦で小川にリードを奪いながら逆転負けを喫し、第3位に甘んじた自衛隊体育学校の和泉は、延長戦旗判定勝利の接戦を続けながらも僅差を制して準決勝戦に駒を進める。WINNET TECHNOLOGYの新人升水との準決勝戦でも、3度の延長戦に突入。今度も旗判定にもつれ込み、白旗2本の薄水の勝利。決勝戦の雪辱を期して小川に挑む。

右組み同士の決勝戦は、小川が終始攻め続けるも決め手を欠いて引分ける。延長戦では、小川が開始16秒、和泉の内股をすくい投から裏投の連絡技で応じて尻餅を着かせ、あわやと思わせる。その後も中盤までは引き続き小川の一方的な攻勢が続く。和泉は残り1分を切って、ようやくペースを掴み始め、徐々に攻勢に転じる。最終盤は小川に疲労の色が漂い始めるうちに試合終了。結局、延長戦でも共にポイントなく旗判定へ。審判員の旗は赤旗3本、小川に挙がる。ここに小川の5連覇、通算6度目の優勝の偉業成る。



優勝した小川選手
(了徳寺学園)

【成績】

優勝 小川武志 (了徳寺学園)
準優勝 和泉強志 (自衛隊体育学校)
第3位 朝比奈竜真 (WINNET TECHNOLOGY)
第3位 升水翔兵 (WINNET TECHNOLOGY)

▽準々決勝

○小川 判定勝 笠井 (ぎふ柔道クラブ24)
○朝比奈 双手刈 寺澤 (はつとり接骨院)
○升水 肩車 川住 (アイゼンギムナジウム)
○和泉 判定勝 鈴木 (小川道場)

▽準決勝

○小川 背負投 朝比奈
○和泉 判定勝 升水

▽決勝

○小川 判定勝 和泉

男子22歳未満

“吉崎、チームの後輩を一蹴し、出場3度目、悲願の初優勝成る”

一昨年第3位、昨年準優勝の新日本製鐵の吉崎は、地力を発揮しオール一本勝の快進撃。準決勝戦では、東レ・滋賀の和久田を1分13秒、難なく崩上四方固で降し、昨年に続き決勝戦に駒を進める。

対する同じチームの後輩、新人の岡も得意の内股が決まり、こちらもオール一本勝で新日本製鐵・大分の富田との準決勝戦へ。試合は両者相譲らず延長戦に突入するが、延長戦では岡が左右のケンカ組み手を制して攻勢に試合を進める。富田は防御が目立ち、残り45秒指導1を受けて時間。旗は白旗3本、岡に上がる。

左組み手同士、同じチーム同士の決勝戦は、序盤互いに様子を窺う。しかし、55秒に吉崎に袖口注意の指導1が与えられると、これに発奮した吉崎が、奥襟を掴んで内股、払腰、袖釣込腰と攻撃開始。そして遂に2分55秒、吉崎が岡の奥襟を掴み、強引な払巻込で岡を捻り倒して有効を奪う。その後も、地力で優る吉崎が攻勢を保ち、岡に付け入る暇を与えず悲願の初優勝を飾る。



優勝した吉崎選手
(新日鐵・広畑)

【成績】

優勝 吉崎 晃 (新日鐵・広畑)
準優勝 岡 一太郎 (新日鐵・広畑)
第3位 和久田裕人 (東レ・滋賀)
第3位 富田京平 (新日鐵・大分)

▽準々決勝

○吉崎 袈裟固 梶原 (新日鐵・大分)
○和久田 一本背負 日名子 (上杉自動車)
○富田 優勢勝 田辺 (十全・聖明学院)
○岡 払腰 中村 (愛媛工業)

▽準決勝

○吉崎 崩袈裟固 和久田
○岡 判定勝 富田

▽決勝

○吉崎 優勢勝 岡

吉崎の話

今大会は、本年度優勝を目標に掲げていた大会であり、一昨年、昨年と負けたので今年こそは絶対に優勝するという強い気持ちで試合に臨みました。

今回優勝できたのは、弊社をはじめ、監督、先輩、後輩などの支え、ご指導と応援があったからだと思います。

この結果に満足せず、来年からは一般の階級別に出場するので、勝ち進んで行けるように課題克服と目標達成に向けて、これからも頑張っていきたいです。

女子78kg超級

“新人立山、堂々の3戦オール一本勝で、実業個人選手権を制す”

新興チーム、フォーリーフジャパンの大型新人立山は、その実力を遺憾なく発揮、緒戦の第2回戦を難なく制しての準決勝戦では、近大クラブの新人、野方を開始24秒に払腰からの大外刈一本を決め、決勝戦に臨む。

片や、総合警備保障の駒木は、緒戦一本勝を収めるも、第3回戦の日本エースサポート船越戦は40kg以上の体重差を持て余し、苦労の末に勝利を収める。ヤックスケアサービス松村との準決勝戦では、互角の勝負を強いられるも終盤に攻勢に出て、残り1分を切って続けざまに指導を奪って勝利を得る。

決勝戦は、体格で上回る立山が駒木を厳しく引き付け、奥襟を押えて圧迫し、開始28秒、防衛の駒木に袖口注意の指導1。その後は、立山が払腰を、駒木が足技を散発するが、3分5秒、3分53秒に両者に指導が与えられる。指導3となった駒木は焦りを見せ、残り6秒に高い位置から不完全な一本背負投を仕掛けるが、立山はこの機を逃さず、駒木の左足を小外刈で刈って横転させ、技ありを奪う。新人立山、堂々全試合一本勝で初優勝を飾る。



優勝した立山選手
(フォーリーフジャパン)

立山の話

初めての実業団個人の試合とあって緊張と期待を感じながら試合に挑みました。

初出場ながらも結果を残せたことはとても嬉しく感じています。

決勝が終わって、応援して下さっていた監督、会社の皆さんが喜ばれていたのがとても印象強く残っています。

応援して下さい皆さんの笑顔を再び見れるよう次の試合も頑張っていきたいと思っています。

【成績】

優勝 立山真衣 (フォーリーフジャパン)
準優勝 駒木奈緒美 (総合警備保障)
第3位 松村市子 (ヤックスケアサービス)
第3位 野方ゆかり (近大クラブ)

▽二回戦

○松村 不戦勝 杉本 (コマツ)
○駒木 優勢勝 船越 (日本千草ポト)
○立山 支釣込足 相原 (産業倶楽部)
○野方 大外刈 高瀬 (総合警備保障)

▽準決勝

○駒木 優勢勝 松村
○立山 大外刈 野方

▽決勝

○立山 総合勝 駒木

女子78kg級

“平岡、攻めの姿勢を貫き、2年ぶり4度目の優勝を飾る”

2年ぶり出場の平成国際大学柔道クラブの平岡は、緒戦の第2回戦を延長戦判定で辛くも制して後、日本エースサポートの新人石川と準決勝戦で対戦。この一戦は、平岡が徐々に石川の奥襟を制し、充分に組み止めて後の1分34秒、大外刈で石川を崩すと、そのまま寝技に移行。逃げようともがく石川を攻め続け、1分52秒に崩壊寝固(最後は、後袈裟固)で抑え込み、4度目の決勝戦進出を果たす。

対する三井住友海上火災保険の新鋭高橋は、緒戦の第2回戦を払腰一本で瀬野川病院比南原を降し、昨年のチャンピオン、セコム鳥谷部と決勝戦進出を賭けて争う。高橋は、試合前半は鳥谷部の低い背負投に苦しめられるが、徐々に長身を利用しての攻撃に転じ、残り12秒に、苦し紛れに小内刈に来た鳥谷部を潰して上四方固で抑え込む。高橋、一本勝で決勝戦に名乗りを上げる。

決勝戦は、高橋が左、平岡は右、ケンカ組み手の両者の戦い。平岡は右釣り手で長身の高橋の奥襟を握り、引き手争いを制して大外刈で盛んに攻める。足の長い高橋は辛うじてこれを防が、2分28秒に指導1。その後も平岡の攻勢が続く、高橋に残り1分には指導2。試合終了間際には平岡に指導1が与えられるが、そのまま時間。試合の大半に於いて組み手を制した平岡が指導によるポイント差で勝利をもぎ取る。平岡は2年ぶり4度目の優勝を飾る。



優勝した平岡選手
(平成国際大学柔道クラブ)

平岡の話

この度、この大会で4度目の優勝を果たすことができ、とても嬉しく思います。

また、周囲の方々皆さんの御協力や御支援のおかげで、このような結果を出すことができ、周囲の方々には、心より感謝しています。

今後はこの結果に満足することなく、自分の課題克服と目標達成に向け日々精進して参りたいと思います。

【成績】

優勝 平岡麻美 (平成国際大学柔道クラブ)
準優勝 高橋千尋 (三井住友海上火災保険)
第3位 鳥谷部真弓 (セコム)
第3位 石川笑美子 (日本エースサポート)

▽二回戦

○鳥谷部 背負投 熱海 (マックスゼルス)
○高橋 払腰 比南原 (瀬野川病院)
○平岡 判定勝 柴野 (北関東総合警備)
○石川 判定勝 山本 (瀬野川病院)

▽準決勝

○高橋 上四方固 鳥谷部
○平岡 崩壊寝固 石川

▽決勝

○平岡 優勢勝 高橋

女子70kg級

“今井が植木との2年連続の決勝戦対決を制し、堂々の2連覇達成”

ディフェンディング・チャンピオン了徳寺学園の今井は、緒戦の第2回戦、第3回戦を順当に勝ち上がり、準決勝戦で元ドイツ・チャンピオンのコマツGREVEとまみえる。興味ある対戦に熱戦が期待されたが、案に相違して開始18秒、GREVEの大外刈を今井が大外刈で返してあっけなく勝負が決する。

対するセコムの植木は、2連続一本勝で準決勝戦に駒を進め、第35回大会78kg級チャンピオンのぎふ柔道クラブ24長瀬と対戦。試合は、長身の長瀬が強引に大外刈を仕掛け、植木が大外返しを狙う展開から始まる。植木は長瀬の大外刈に危うい場面が見られるも、何とかこれをしのぐ。ますます長瀬の攻勢が強まるも、残り1分には、植木がようやく長瀬の大外刈を返して有効を奪う。植木は倒れた長瀬をそのまま袈裟固に抑え込み一本。植木、昨年に続き今井との優勝争いの舞台に立つ。

決勝戦は、両者が互いに右組みでしつかり組み合い、共に得意技を伺う展開が続く。1分13秒には場外で今井が押し込むところを、植木が反撃の大外刈に刈り込むが、勢いに優る今井は委細構わず体を浴びせると、これが奏功し植木がそのまま背中から倒れて有効となる。中盤も今井の攻勢が続く、守勢に回った植木に3分18秒指導1。終盤は植木が反撃を開始するが功を奏さず、場内に終了ブザーが響く。今井の栄えある2連覇成る。

【成績】

優勝 今井優子（了徳寺学園）

準優勝 植木順子（セコム）

第3位 GREVE ELISABETH（コマツ）

第3位 長瀬めぐみ（ぎふ柔道クラブ24）

▽準々決勝

○今井 優勢勝 石森（近大クラブ）

○GREVE 大内刈 杉野（金沢学院クラブ）

○植木 袈裟固 児山（日本生命保険）

○長瀬 優勢勝 島本（ヤングスワレる）

▽準決勝

○今井 大外刈 GREVE

○植木 袈裟固 長瀬

▽決勝

○今井 優勢勝 植木



優勝した今井選手
（了徳寺学園）

今井の話
実業個人選手権大会を2連覇することができました。これに満足することなく毎日精進して、また頑張りたいと思います。

女子63kg級

“谷本、立って良し、寝て良し。オール一本勝の活躍で堂々の初優勝”

コマツ谷本は、言わずと知れたアテネ、北京オリンピックの63kg級ゴールド・メダリスト谷本歩実の実妹。そして、この大会は5度優勝の三井住友海上火災保険の上野順恵が長く君臨。今回は世界選手権ロツテルダム大会と重なったため上野が欠場し、その留守中に上野のライバルの妹、谷本育実が大活躍した。

横四方固の連続一本勝で準決勝戦に順当に勝ち上がった谷本は、仙台大学柔道クラブの李を3分20秒に払腰で一本勝し、決勝戦に初進出。

一方、久しぶりに本大会エントリーのミキハウスに所属する新人小澤は接戦を制して勝ち上がり、準決勝戦で三井住友海上火災保険の新鋭阿部と対戦。小澤優位で進めるも引分となった後の延長戦で、開始11秒に、小澤が阿部の技を裏投で返して有効を奪う。小澤も決勝戦に初登場。

決勝戦。右組みの両者は、序盤自らの組み手にこだわるが、中盤には身長で劣る谷本が果敢に攻撃を続け、小澤から指導1を奪う。しかし、終盤には袖口注意で谷本に指導1。その後、両者に見るべき攻防が見られず、延長戦になるかと思われた残り19秒、谷本が素早く、低い姿勢の体落に入り、小澤が伏せたところを、そのまま強引に裏返して上四方固でがっちり抑え込む。谷本、オール一本勝で初優勝に花を添える。

【成績】

優勝 谷本育実（コマツ）

準優勝 小澤理奈（ミキハウス）

第3位 李 馥熙（仙台大学柔道クラブ）

第3位 阿部香菜（三井住友海上火災保険）

▽準々決勝

○李 縦四方固 橋本（仁徳会・小泉商院）

○谷本 横四方固 石井（白土商道クラブ）

○阿部 出足払 松井（丸順）

○小澤 優勢勝 久保（ワイエスフード）

▽準決勝

○谷本 払腰 李

○小澤 優勢勝 阿部

▽決勝

○谷本 上四方固 小澤



優勝した谷本選手
（コマツ）

谷本の話
一昨年、この試合で怪我をしました。手術を経てたくさん事を学び、この試合で優勝する事ができました。

私にとって大切な事を教えてもらった試合となりました。これからも自分の理想とする柔道を追及し、日本代表として世界で活躍できるように頑張っていきます。応援の程よろしくお願いします。

女子57kg級

“昨年決勝戦で涙を飲んだ宇高、僚友対決を制し嬉しい初優勝”

昨年は決勝戦で涙を飲んだコマツ宇高は、緒戦の2回戦、3回戦を一本勝で制し、順当に準決勝戦に勝ち上がる。セコム滝口との準決勝戦は、共に技が出ぬまま指導を重ねる。勝敗は、滝口の中盤に受けた偽装的攻撃での指導3が決め手となって宇高が勝利を得、昨年に続き決勝戦進出。

対するチーム僚友の野中は、第1回戦、第2回戦でベテランの強豪を破り、第3回戦では昨年のチャンピオン宮本を大外刈有効で降し、殊勲の準決勝戦進出。フオーリーフジヤン栗野との一戦は、野中が1分2秒、場外際で奥襟を掴むや否や、大腰からの巻込で技ありを奪う。その後は、栗野の反撃をかわして決勝戦に初名乗りを上げる。

僚友対決となった決勝戦は、左右のケンカ組み手、互いに手の内を知り尽くした両者は、容易に技が出ず、中盤までに両者指導2を受ける。しかし、3分50秒に宇高が左大内刈で野中を押し込み、野中が伏せるところを内股に変化して捻るように横転させて有効を奪う。宇高はそのまま崩壊装固（後装装固）にがっちり固めて一本。宇高嬉しい初優勝。



優勝した宇高選手
(コマツ)

宇高の話
去年の本大会では、準優勝と悔しい結果に終わったのですが、今回優勝することができ、大変嬉しい気持ちです。日々の練習とトレーニングの成果が出せた一面もあり、次に繋がる試合ができました。11月に行われる講道館杯では、今大会で得られたものを十分に発揮できるように、尽力したいと思います。また、来年も全日本実業柔道選手権大会での優勝を目指します。

【成績】

- 優勝 宇高菜結 (コマツ)
準優勝 野中未奈 (コマツ)
第3位 栗野壽子 (フオーリーフジヤン)
第3位 滝口並穂 (セコム)

▽準々決勝

- 野中 優勢勝 宮本 (了徳寺学園)
○栗野 判定勝 廣村 (自衛隊体育学校)
○宇高 大外刈 小山 (ワールド警備保衛)
○滝口 裏投 永井 (京都医療専門学校)

▽準決勝

- 野中 優勢勝 栗野
○宇高 優勢勝 滝口

▽決勝

- 宇高 後装装固 野中

女子52kg級

“近藤が苦しみながらも勝ち星を重ね、輝く2連覇達成”

昨年のチャンピオン近藤は、緒戦の2回戦と第3回戦を有効による優勢勝で準決勝戦に進出し、日本エースサポートの新鋭武田と対戦。両者共にポイント無く、延長戦判定にもつれ込む。ここでも赤旗2本、白旗1本の際とい判定となるが、赤旗2本の近藤が昨年に続き決勝戦に進出する。

近藤に対するのは、2年連続して自衛隊体育学校の新鋭小島。昨年準優勝の小島は第1回戦から登場。順当に勝ち上がって、準決勝戦では嘗て48kg級で一世を風靡した高宮接骨院の北田と決勝戦進出を賭けて対戦。小島は北田に対して臆することなく立ち向かい、序盤に小内刈で技ありと有効を連取して決勝戦進出を果たす。

昨年の再現となった両者の決勝戦。近藤は右組みから左小内刈を連発し、上背で劣る小島は両襟で左の構えから左右の低い背負投で攻める。しかし、共に決め手無く引分。延長戦では、小島が最初から積極的に出るも、開始50秒に右組みの小島が虚を衝いて左の低い背負投で小島を担ぐと、小島は堪え切れず畳に横転。主審は有効を宣して試合終了。小島は雪辱ならず今年も涙を飲む。近藤は接戦を制して堂々の連覇達成。



優勝した近藤選手
(S・T・O)

近藤の話
今回の優勝は2回目ということもあり、大変嬉しいと思うと共に、自分の中で大きな自信になりました。刺激の少ない地方で現役をして、トップを目指し続けることは、気持ちの維持、練習環境の確保など難しい面もあります。しかし、いつも二人三脚で指導くださった吉岡先生と一緒に稽古をしている徳山大学の学生、たくさんの方々の応援により、これまで頑張ることが出来ました。本当に感謝しています。これからも自分自身の成長を感じている、だからこそ出来る柔道を貪欲に取り入れ、どんな試合でも勝てる選手を目指し頑張りたいと思います。

【成績】

- 優勝 近藤優子 (S・T・O)
準優勝 小島愛子 (自衛隊体育学校)
第3位 武田三友紀 (日本エースサポート)
第3位 北田佳世 (高宮接骨院)

▽準々決勝

- 近藤 優勢勝 増田 (十全会・回生病院)
○武田 肩固 廣川 (自衛隊体育学校)
○小島 優勢勝 嶋田 (天理高校柔道クラブ)
○北田 背負投 小野村 (ワールド警備保衛)

▽準決勝

- 近藤 判定勝 武田
○小島 優勢勝 北田

▽決勝

- 近藤 優勢勝 小島

女子48kg級

“宝、相手選手を寄せ付けず、堂々の5連覇達成”

初出場以来、本大会負けなし、無敵の4連覇中のコマツ宝は今年も相手を寄せ付けず。緒戦の第2回戦を技あり優勢で制して後の横浜国大柔友会の末成との準決勝戦。宝は1分37秒に指導1を奪った後、2分36秒には右体落で崩して、そのまま崩上四方固一本で末成を退け、5度目の決勝戦に臨む。

対する昨年第3位入賞のたんぼは助産院の谷本は、準決勝戦で十全会・回生病院の平野をゴールデンスコアーによる延長戦を48秒、左引き手を掴むや否や、右袖釣込腰で有効を奪い念願の決勝戦進出。

決勝戦は、スタートから左右の組み手争いが続く。しかし、55秒には谷本の左組みからの右一本背負投を潰した宝が、縦四方固で抑え込み、勝負あったと思われるも5秒で解ける。その後も両者激しい組み際の攻防が続く。しかし、徐々に宝が組み手を制し始め、迎えた2分15秒、宝が体を左に素早く回転させながら左膝を畳に着け、低い姿勢から右体落を仕掛けると、これが見事に決まる。宝、鮮やかな一本勝で、男子60kg級の了徳寺学園小川選手に並ぶ5連覇の偉業に花を添える。



優勝した宝選手
(コマツ)

宝の話
今大会では優勝することができ、大変嬉しく思います。
試合では結果のことは考えず、目の前の一戦一戦で自分の柔道を出し切ることを考えて試合しました。

ただ、試合内容としてまだまだ満足のいく内容ではなく、反省すべき点や今後の課題も多く見つかったので、これらを見つめ直し、克服して、次の大会へしっかりと繋げていけるようにしていきたいと思っています。

【成績】

優勝 宝 真由美 (コマツ)

準優勝 谷本千恵 (たんぼ助産院)

第3位 末成雅子 (横浜国大柔友会)

第3位 平野真葉 (十全会・回生病院)

▽二回戦

○平野 優勢勝

○谷本 横四方固 鈴木 (花園総合警備保障)

○宝 優勢勝

○末成 内股 矢野 (三井生命保険)

▽準決勝

○宝 崩上四方固

○谷本 優勢勝

▽決勝

○宝 体落

谷本



78kg超級 立山 総合勝 駒木



100kg超級 須藤 内股 片淵



63kg級 谷本 上四方固 小澤



90kg級 矢崎 合せ技 齋藤

熱戦風景 1

成績表

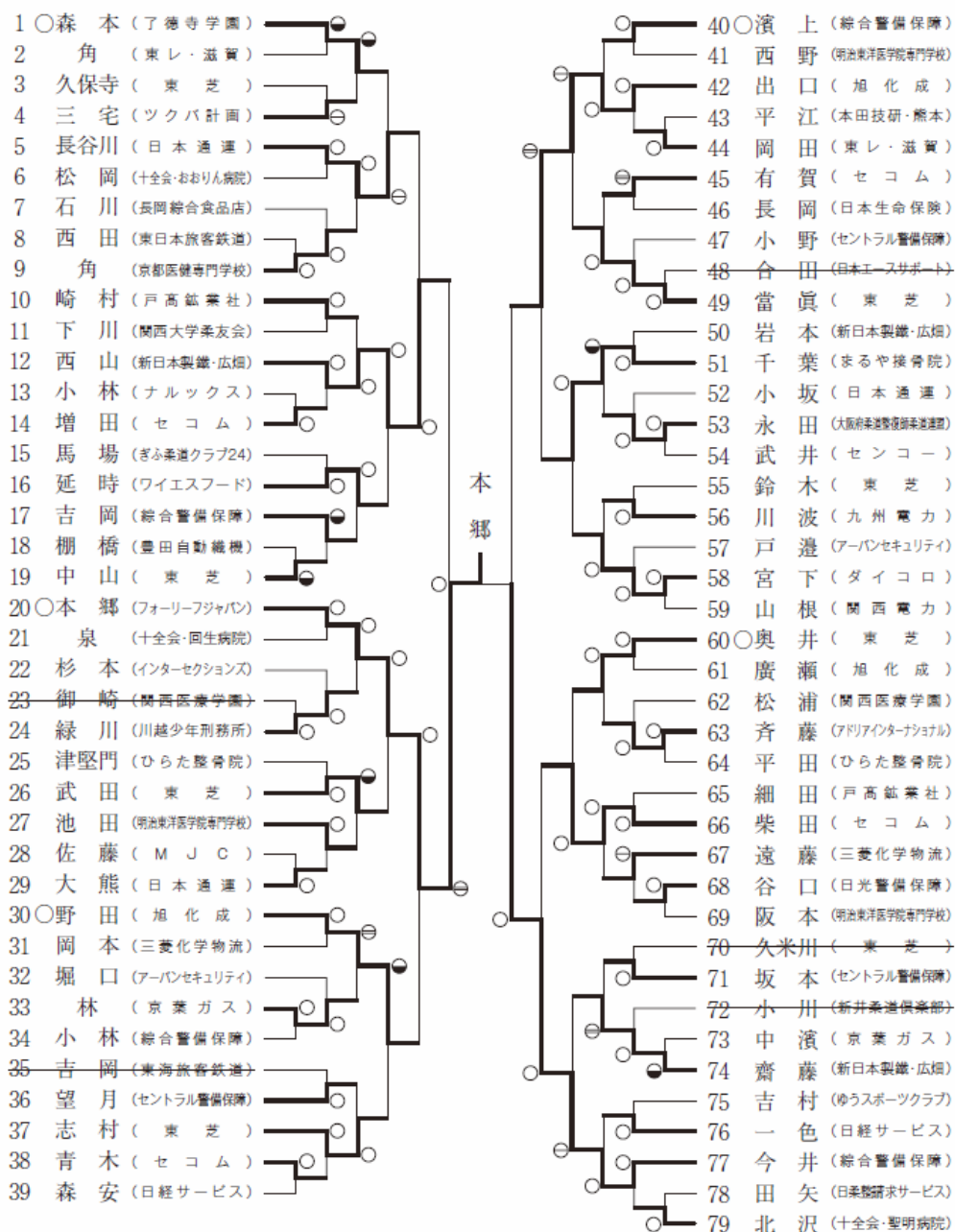
男子100kg超級(71名)

1 ○木村 (旭化成)		36 ○村上 (総合警備保障)
2 木村 (日柔整請求サービス)		37 紺野 (京業ガス)
3 川野 (九州電力)		38 石川 (セントラル警備保障)
4 秋田 (福岡医療専門学校)		39 石崎 (日経サービス)
5 半澤 (ワイエスフード)		40 津志田 (十全会・おおりん病院)
6 崎村 (戸高鉱業社)		41 田村 (セコム上信越)
7 山岡 (十全会・おおりん病院)		42 横尾 (日光警備保障)
8 佐藤 (日本中央競馬会)		43 小田口 (九電工)
9 鎮守 (十全会・回生病院)		44 大鋸 (旭化成)
10 高木 (米田柔整専門学校)		45 ○高橋 (新日本製鐵・広畑)
11 折田 (日経サービス)		46 土田 (十全会・聖明病院)
12 岩佐 (東日本旅客鉄道)		47 桶谷 (立花学園柔道クラブ)
13 合田 (ダイコロ)		48 石井 (秋大柔道クラブ)
14 木藤 (東レ・滋賀)		49 坂本 (セコム)
15 工藤 (総合警備保障)		50 荒木 (錦秀会 阪和病院)
16 松本 (はっとり接骨院)		51 堀口 (井野整形外科)
17 中村 (セコム上信越)		52 森 (九州電力)
18 ○高井 (旭化成)		53 松岡 (東芝)
19 嶺 (九州電力)		54 ○市川 (京業ガス)
20 後藤 (十全会・おおりん病院)		55 片渕 (日本中央競馬会)
21 鈴木 (日本中央競馬会)		56 尾本 (九州電力)
22 平岡 (関西医療学園)		57 伊藤 (セコム上信越)
23 里山 (ぎふ柔道クラブ24)		58 中島 (日本エースサポート)
24 田中 (大阪ガス)		59 戸川 (総合警備保障)
25 窪田 (セントラル警備保障)		60 高橋 (戸高鉱業社)
26 横堀 (セコム上信越)		61 岡村 (はっとり接骨院)
27 ○須藤 (京業ガス)		62 山崎 (十全会・回生病院)
28 船津 (新日本製鐵・広畑)		63 ○佐藤 (了徳寺学園)
29 菅井 (センコー)		64 森田 (新日本製鐵・広畑)
30 三浦 (日本エースサポート)		65 渡辺 (京都医療専門学校)
31 西村 (了徳寺学園)		66 立松 (米田柔整専門学校)
32 山富 (三菱重工業・名古屋)		67 松山 (旭化成)
33 尾見谷 (日経サービス)		68 佐々田 (ダイコロ)
34 百瀬 (国士館柔道クラブ)		69 河井 (東レ・滋賀)
35 沼田 (東レ・滋賀)		70 松原 (十全会・おおりん病院)
		71 白石 (三菱化学物流)

○印はシード選手

成績表

男子100kg級(79名)



○印はシード選手

成績表

男子90kg級(82名)

1 ○増 渕 (旭化成)		42 ○齋 藤 (旭化成)
2 栗 本 (大阪府警警備隊)		43 西 山 (トーエ企業)
3 白 本 (まるや接骨院)		44 笠 原 (まるや接骨院)
4 中 根 (東 芝)		45 ゲンデン (松前柔道クラブ)
5 落 合 (セ コ ム)		46 杉 山 (早稲田柔道クラブ)
6 中 野 (日経サービス)		47 河 原 (京 葉 ガス)
7 名 雪 (東日本旅客鉄道)		48 向 井 (総合警備保障)
8 中 谷 (Y K K)		49 古 田 (濱 田 重 工)
9 有 留 (総合警備保障)		50 近 藤 (九州 電力)
10 宮 島 (秋大柔道クラブ)		51 正 木 (日本エースサポート)
11 和 知 (日光警備保障)		52 筒 井 (セ コ ム)
12 奥 橋 (広島大学柔道クラブ)		53 三 山 (日 本 通 運)
13 山 田 (三菱化学物流)		54 平 田 (了徳寺学園)
14 土 井 (近畿通関)		55 鴨 川 (大 東 柔 整)
15 横 山 (豊田自動織機)		56 田 中 (丸の内柔道倶楽部)
16 飯 田 (松前柔道クラブ)		57 信 國 (三井柔道クラブ)
17 橋 本 (東京消防庁)		58 剛 (大 阪 ガス)
18 斉 藤 (セ ン コ ー)		59 竹 森 (高宮接骨院)
19 八 田 (長野刑務所)		60 前 田 (東日本旅客鉄道)
20 小 山 (大 阪 ガス)		61 池 戸 (日本ソフトウェア)
21 ○矢 寄 (了徳寺学園)		62 ○角 地 (旭化成)
22 高 野 (福岡医療専門学校)		63 砂 原 (近畿通関)
23 吉 田 (十全会・同生病院)		64 鹿 内 (東日本旅客鉄道)
24 正 木 (日柔連赤サ・ビス)		65 山 崎 (広島大学柔道クラブ)
25 菊 地 (北関東総合警備保障)		66 岩 井 (アーバンセキュリティ)
26 三 宅 (関 西 電 力)		67 河 野 (長岡総合食品店)
27 堀 田 (関西学院柔道クラブ)		68 稲 葉 (十全会・聖明病院)
28 春日井 (米田柔整専門学校)		69 相 沢 (東 洋 水 産)
29 影 野 (日 本 通 運)		70 野 瀬 (国士館柔道クラブ)
30 田 中 (旭化成)		71 河 合 (セ ン コ ー)
31 ○山 本 (日本中央競馬会)		72 菊 川 (O J C)
32 谷 村 (大 阪 ガス)		73 斉 藤 (豊田自動織機)
33 高 木 (総合警備保障)		74 小 野 (総合警備保障)
34 片 野 (立花学園柔道クラブ)		75 金 沢 (日光警備保障)
35 須 藤 (仙台大学柔道クラブ)		76 和 中 (関西医療学園)
36 坂 本 (高宮接骨院)		77 湯 田 (日経サービス)
37 梅 本 (関西医療学園)		78 相 馬 (一 東 芝)
38 白 井 (錦秀会 阪和病院)		79 浅 田 (大 阪 ガス)
39 山 本 (国士館柔道クラブ)		80 矢 部 (セコム上信越)
40 沼 田 (セ ン コ ー)		81 井 川 (M J C)
41 田 畑 (セントラル警備保障)		82 岸 川 (三菱化学物流)

○印はシード選手

男子81kg級(94名)

○印はシード選手

男子73kg級(107名)

○印はシード選手

成績表

男子66kg級(70名)

1 ○寺居 (旭化成)	36 近藤 (ナチュラル)
2 菊田 (東日本旅客鉄道)	37 望月 (セコム)
3 龍 (明治東洋医学専門学校)	38 塚本 (日本生命保険)
4 西倉 (日系整請求サービス)	39 柿崎 (川越少年刑務所)
5 榎本 (フォーリージャパン)	40 稲富 (濱田重工)
6 石川 (ナチュラル)	41 相川 (豊田自動織機)
7 鳥入 (近畿通関)	42 飯島 (関西学院柔道クラブ)
8 西口 (米田柔整専門学校)	43 湊 (九電工)
9 高須 (豊田自動織機)	44 赤木 (東洋水産)
10 森貞 (日本健康開発)	45 日置 (和歌山柔栄会)
11 小野 (スポーツ会館)	46 山本 (建築工業)
12 横口 (ぎふ柔道クラブ24)	47 川上 (三菱重工業・名古屋)
13 田畑 (センコー)	48 中島 (スポーツ会館)
14 坂内 (秋大柔道クラブ)	49 野津 (クラレ・岡山)
15 池田 (ミスノ)	50 莊司 (総合警備保障)
16 近藤 (セコム上信越)	51 飯田 (秋大柔道クラブ)
17 百村 (北関東総合警備保障)	52 守屋 (豊田自動織機)
18 赤坂 (関西学院柔道クラブ)	53 藤山 (熊本刑務所)
19 木村 (豊田自動織機)	54 金丸 (ひらた整骨院)
20 梅津 (総合警備保障)	55 半澤 (日本エースサポート)
21 佐々木 (井野整形外科)	56 岩下 (豊田自動織機)
22 松尾 (日本通運)	57 外村 (Taeoos-K)
23 阪口 (ミスノ)	58 對馬 (セントラル警備保障)
24 田中 (建築工業)	59 川北 (JFEスチール)
25 村上 (川越少年刑務所)	60 日下 (東芝)
26 柿本 (瀬野川病院)	61 益井 (ミスノ)
27 木内 (JR東日本リテールネット)	62 豊田 (セコム)
28 柴田 (豊田自動織機)	63 奥 (坂井印刷)
29 辻下 (日本エースサポート)	64 種市 (センコー)
30 武末 (東芝)	65 莊司 (紀宝柔道会)
31 大野 (東レ・名古屋)	66 成澤 (セコム上信越)
32 馬場 (クラレ・岡山)	67 竹下 (京橋白木)
33 石橋 (九電工)	68 喜多 (大阪ガス)
34 萩原 (ひらた整骨院)	69 糺 (甲南柔友会)
35 高倉 (関西医療学園)	70 根本 (早稲田柔道クラブ)

○印はシード選手

成績表

男子60kg級(46名)

1 ○小 川 (了徳寺学園)	24 ○川 住 (グリーンセキュリティサービス)
2 川 島 (福田柔道クラブ)	25 宮 田 (東京武道館柔友会)
3 宮 本 (新日本製鐵・八幡)	26 小 林 (学校法人 大川学園)
4 中 西 (光 進 工 業)	27 玉 田 (豊田自動織機)
5 鈴 木 (まるや接骨院)	28 大 呂 (日経エンテック)
6 小 林 (金沢学院クラブ)	29 城 後 (大 阪 ガ ス)
7 笠 井 (ぎふ柔道クラブ24)	30 杉 本 (和歌山柔栄会)
8 田 中 (自衛隊体育学校)	31 清成公 (東 京 ガ ス)
9 今 上 (セントラル警備保障)	32 升 水 (WIN NET TECHNOLOGY)
10 中 山 (大 阪 ガ ス)	33 竹 下 (京 橋 白 木)
11 赤 池 (JR東日本リテールネット)	34 大 登 (北関東総合警備保障)
12 ○浅 野 (自衛隊体育学校)	35 ○鈴 木 (小 川 道 場)
13 清成周 (東 京 ガ ス)	36 竹 中 (福岡医療専門学校)
14 越 後 (堀 谷 建 設)	37 漆 畑 (東 芝)
15 大 谷 (大 阪 ガ ス)	38 小 松 (横浜国大柔友会)
16 寺 澤 (はっとり接骨院)	39 石 田 (広島大学柔道クラブ)
17 堀 家 (関 西 電 力)	40 位 田 (東レ・名古屋)
18 林 (早稲田柔道クラブ)	41 尾 張 (水戸英成柔道クラブ)
19 水 野 (日本駐車場救急サービス)	42 松 井 (錦秀会 阪和病院)
20 中 根 (豊田自動織機)	43 和 泉 (自衛隊体育学校)
21 朝比奈 (WIN NET TECHNOLOGY)	44 池 野 (セ ン コ ー)
22 金 子 (三菱重工・名古屋)	45 佐 藤 (駒澤大学柔友会)
23 坂 口 (Taacos-K)	46 石 川 (豊田自動織機)

○印はシード選手

成績表

男子22歳未満(55名)

1 ○吉 崎 (新日本製鐵・広畑)

2 河 本 (クラレ・岡山)

3 山 本 (関西電力)

4 斎 藤 (セコム上信越)

5 和 田 (東レ・名古屋)

6 長 瀬 (立花学園柔道クラブ)

7 坂 元 (衆議院事務局)

8 鈴 木 (十全会・聖明病院)

9 清 水 (東日本旅客鉄道)

10 梶 原 (新日本製鐵・大分)

11 下田代 (豊田自動織機)

12 濱 田 (錦秀会 阪和病院)

13 増 田 (セコム上信越)

14 日名子 (トヨタ自動車)

15 佐 俣 (ALSOK警備ガードシステム)

16 鈴 木 (衆議院事務局)

17 大 島 (セコム上信越)

18 渡 邊 (クラレ・岡山)

19 柴 原 (新日本製鐵・八幡)

20 矢 田 (本田技研・熊本)

21 李 (京都保健専門学校)

22 上 田 (十全会・聖明病院)

23 利 光 (三菱重工・名古屋)

24 和久田 (東レ・滋賀)

25 菊 池 (新日本製鐵・大分)

26 松 井 (セコム上信越)

27 杉 浦 (豊田自動織機)

吉崎

28 ○小 野 (新日本製鐵・広畑)

29 金 澤 (豊田自動織機)

30 大 桃 (セコム上信越)

31 小 路 (関西電力)

32 城 戸 (クラレ・岡山)

33 藤 原 (東レ・名古屋)

34 田 辺 (十全会・聖明病院)

35 加 藤 (豊田自動織機)

36 崎 村 (戸高鉱業社)

37 表 (東レ・滋賀)

38 富 田 (新日本製鐵・大分)

39 牧 平 (トヨタ自動車)

40 牧 野 (ナチュラル)

41 江 口 (アイシン精機)

42 中 村 (三菱重工・名古屋)

43 平 山 (セントラル警備保障)

44 川 内 (YKK)

45 坂 田 (十全会・回生病院)

46 岡 田 (安川電機)

47 高 野 (セコム上信越)

48 田 村 (東レ・滋賀)

49 岡 (新日本製鐵・広畑)

50 金 澤 (三菱重工・神戸)

51 小 林 (日本貨物鉄道)

52 加 藤 (衆議院事務局)

53 中 島 (豊田自動織機)

54 渭 原 (東芝)

55 三 浦 (東日本旅客鉄道)

○印はシード選手

成 績 表

女子78kg超級(13名)

1 ○杉 本 (コマーツ)	立	8 ○立 山 (フォーリーフジャパン)
2 松 村 (ヤックスケアサービス)	山	9 平 岩 (ALSOK防犯給ガードシステム)
3 太 田 (北関東総合警備保障)	○	10 相 原 (櫻葉倶楽部)
4 駒 木 (総合警備保障)	○	11 野 方 (近大クラブ)
5 稲 田 (櫻葉倶楽部)	○	12 高 瀬 (総合警備保障)
6 野 瀬 (仁康会・小泉病院)	○	13 藤 猪 (日本総合メディカル専門学校)
7 船 越 (日本エースサポート)	○	

女子78kg級(10名)

1 ○烏谷部 (セ コ ム)	平	6 平 岡 (平成国際大学柔道クラブ)
2 熱 海 (ヤックスケアサービス)	岡	7 柴 野 (北関東総合警備保障)
3 高 橋 (三井住友海上火災保険)	○	8 山 本 (瀬野川病院)
4 片 岡 (京都医健専門学校)	○	9 石 川 (日本エースサポート)
5 比南原 (瀬野川病院)	○	10 北 田 (ワイエスフード)

女子70kg級(20名)

1 ○今 井 (子 徳 寺 学 園)	今	11 ○植 木 (セ コ ム)
2 森 (駿 羽)	井	12 浜 岡 (K.K.ス ポー ツ)
3 城 田 (櫻葉倶楽部)	○	13 森 田 (ほのほの会)
4 石 森 (近大クラブ)	○	14 児 山 (日本生命保険)
5 佐々木 (府中刑務所)	○	15 蘭 田 (仁康会・小泉病院)
6 遠 藤 (日光警備保障)	○	16 ○岡 (コ マ ツ)
7 GREVE (コ マ ツ)	○	17 長 瀬 (ぎふ柔道クラブ24)
8 鈴 木 (総合警備保障)	○	18 黒 済 (日光警備保障)
9 杉 野 (金沢学院クラブ)	○	19 江 口 (北関東総合警備保障)
10 大 呂 (日本総合メディカル専門学校)	○	20 島 本 (ヤックスケアサービス)

女子63kg級(21名)

1 ○川 崎 (子 徳 寺 学 園)	谷	11 ○阿 部 (三井住友海上火災保険)
2 橋 本 (仁康会・小泉病院)	本	12 山 下 (長岡総合食品店)
3 岡 本 (瀬野川病院)	○	13 松 井 (丸 順)
4 李 (仙台大学柔道クラブ)	○	14 伊 福 (日本防犯請求サービス)
5 栗 田 (日本・ソフトウエ)	○	15 唐 沢 (仁康会・小泉病院)
6 ○谷 本 (コ マ ツ)	○	16 ○小 澤 (ミキハウス)
7 長谷川 (高宮接骨院)	○	17 吉 田 (高宮接骨院)
8 相 澤 (ヤックスケアサービス)	○	18 笠 原 (全国警備保障)
9 的 場 (近大クラブ)	○	19 久 保 (ワイエスフード)
10 石 井 (日大三高柔道クラブ)	○	20 堀 (トヨタ自動車)
		21 田 淵 (東海旅客鉄道)

○印はシード選手

成績表

女子57kg級(28名)

1 ○宮 本 (了徳寺学園)		15 ○宇 高 (コ マ ツ)
2 松 尾 (仁康会・小泉病院)		16 松 本 (日本生命保険)
3 秋 山 (愛産大柔道クラブ)		17 佐々木 (東日本旅客鉄道)
4 植 田 (日本総合メディカル専門学校)		18 南 雲 (ALSOK福岡給水システム)
5 野 中 (コ マ ツ)		19 富 樫 (衆議院事務局)
6 岡 崎 (まるや接骨院)		20 渡 邊 (広島大学柔道クラブ)
7 高 部 (日本生命保険)		21 小 山 (ワールド警備保障)
8 ○廣 村 (自衛隊体育学校)		22 ○滝 口 (セ コ ム)
9 井 上 (龍谷クラブ)		23 伊 福 (日本警備サービス)
10 河 田 (セ コ ム)		24 継 田 (自衛隊体育学校)
11 ○塩 瀬 (三井住友海上火災保険)		25 西 (仙台大学柔道クラブ)
12 御 厨 (近大クラブ)		26 永 井 (京都医療専門学校)
13 栗 野 (フォーリーブジャパン)		27 中 (龍谷クラブ)
14 箱 田 (ALSOK福岡給水システム)		28 山 本 (肥後銀行)

女子52kg級(31名)

1 ○近 藤 (S・T・O)		16 ○小 島 (自衛隊体育学校)
2 福岡 (福大クラブ)		17 東 川 (ヤックスケアサービス)
3 佐 野 (日東整請求サービス)		18 宇都宮 (M J C)
4 岩 永 (仁康会・小泉病院)		19 國 本 (シナノ企画)
5 中 田 (日大三高柔道クラブ)		20 川 越 (仁康会・小泉病院)
6 津 野 (ゆふた整骨院)		21 海老沼 (NEXCO東海鉄道)
7 増 田 (十全会・回生病院)		22 嶋 田 (天理高校職員クラブ)
8 武 田 (日本エースサポート)		23 永 井 (日東整請求サービス)
9 寛 藤 (ヤックスケアサービス)		24 ○藤 井 (横浜国大柔友会)
10 萩 野 (米田薬理専門学校)		25 小野村 (ワールド警備保障)
11 末 村 (総合警備保障)		26 松 尾 (日大三高柔道クラブ)
12 廣 川 (自衛隊体育学校)		27 北 島 (日本エースサポート)
13 富 田 (松前柔道クラブ)		28 橋 本 (ヤックスケアサービス)
14 松 村 (金沢学院クラブ)		29 宮 林 (日本生命保険)
15 佐 藤 (全国警備保障)		30 北 田 (高富接骨院)
		31 末 村 (日本ソフトウェア)

女子48kg級(9名)

1 ○宝 (コ マ ツ)		5 ○平 野 (十全会・回生病院)
2 矢 野 (三井生命保険)		6 新 井 (北関東総合警備保障)
3 濱 野 (櫻葉倶楽部)		7 ○谷 本 (たんぽぽ助産院)
4 末 成 (横浜国大柔友会)		8 竹 本 (広島大学柔道クラブ)
		9 鈴 木 (自衛隊体育学校)

○印はシード選手



57kg級 宇高 後袈裟固 野中



81kg級 谷口 優勢勝 河添

熱戦風景 2



52kg級 近藤 優勢勝 小島



22歳未満 吉崎 優勢勝 岡

第16回環太平洋シニア柔道選手権大会 結果報告 (海外派遣事業)

平成21年度の海外派遣事業として、8月13日から17日にかけて台湾・台北市において開催された第16回環太平洋シニア柔道選手権大会に団長以下20名の日本選手団を派遣した。参加国は10の国と地域、出場選手は109名（男子57名、女子52名）であった。結果は、金11個、銀2個、銅3個と目標どおり全階級入賞を果たした。



階級	氏名	所属	成績
無差別	鈴木 龍	日本中央競馬会	3 位
100kg超級	市川 裕司	京葉ガス(株)	3 位
100kg級	奥井 真也	東芝プラントシステム(株)	優 勝
90kg級	有留 秀宜	総合警備保障(株)	優 勝
81kg級	山本 泰三	九州電力(株)	優 勝
73kg級	赤迫 諒介	(株)戸高鋁業社	優 勝
66kg級	田畑 大地	センコー(株)	3 位
60kg級	和泉 強志	自衛隊体育学校	2 位
無差別 78kg超級	立山 真衣	(株)フォーリーフジャパン	優 勝
78kg級	鳥谷部真弓	セコム(株)	優 勝
70kg級	植木 順子	セコム(株)	優 勝
63kg級	阿部 香菜	三井住友海上火災保険(株)	優 勝
57kg級	宇高 菜絵	コマツ	優 勝
52kg級	小島 愛子	自衛隊体育学校	2 位
48kg級	宝 真由美	コマツ	優 勝

発行日 2009年10月15日
発行所 全日本実業柔道連盟
印刷 事務局 郷田博史
ダイコロ株式会社